



地域運営学校

ながいけ

八王子市立長池小学校

令和 7 年度後期学校評価号

令和 8 年 2 月 10 日

電話 677-5120

FAX 677-5122

ホームページ <http://hachioji-school.ed.jp/ngike/>

【令和 7 年度後期学校評価結果について】

(保護者アンケート 12 月実施回答率 42.5%)

児童数: 306
回収数: 130
回収率: 42.5%

令和 7 年度 後期学校評価		回答数					百分率					前期1.2 合計%	後期1.2 合計%	回答数計
		1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1	学校の教育方針（めざす児童像「よく考え、学ぶ子、思いやりをもち、助け合う子、明るく元気な子」）を知っている。	127			3		97.7%			2.3%		98.1%	97.7%	130
2	学校は、特色ある取組を行っている。（安心安全で信頼される学校・学び合い、知徳体を高め合う学校・生きがいをうむ学校）	113			17		86.9%			13.1%		89.2%	86.9%	130
3	本校が松木中（小）学校と合同で行う取組（小中一貫教育の日、三校合同あいさつ運動、運動会のボランティア）について知っている。	127			3		97.7%			2.3%		94.9%	97.7%	130
4	学校は、子どもが安心・安全に過ごせるように、避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	105	22	0	0	3	80.8%	16.9%	0.0%	0.0%	2.3%	96.8%	97.7%	130
5	学校は、「特別の教科 道徳」を含む教育活動全体を通して、子どもたちが自分が大切さ、他の人の大切さを認め、行動できるような教育をすすめている。（いのちの大切さを共に考える日の取組、SOSの出し方の取組、ふれあい月間の取組 等）	84	38	1	0	7	64.6%	29.2%	0.8%	0.0%	5.4%	92.4%	93.8%	130
6	学校は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づくりに組織的に取り組んでいる。（6月のふれあい月間、児童へのいじめに関するアンケートの実施、10月のふれあい月間および集会等）	82	35	4	0	9	63.1%	26.9%	3.1%	0.0%	6.9%	90.5%	90.0%	130
7	子どもの学級では、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう、指導が行われている。	86	31	5	0	8	66.2%	23.8%	3.8%	0.0%	6.2%	91.8%	90.0%	130
8	学校は、授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器（1人1台の学習用端末等を含む）の活用などの工夫に取り組んでいる。	81	32	7	1	9	62.3%	24.6%	5.4%	0.8%	6.9%	92.4%	86.9%	130
9	学習活動に対する評価は適切・公平である。	71	40	4	3	12	54.6%	30.8%	3.1%	2.3%	9.2%	86.7%	85.4%	130
10	学校は、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように、生活目標を設定したり、きまりを守ったりする指導を行っている。	81	40	1	0	8	62.3%	30.8%	0.8%	0.0%	6.2%	94.3%	93.1%	130
11	学校が、「はちおうじっ子 キャリア・パスポート」等を用いて、子どもの生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	95	26	3	1	5	73.1%	20.0%	2.3%	0.8%	3.8%	89.2%	93.1%	130
12	学校は、学習環境の整備に取り組んでいる。	76	37	4	0	13	58.5%	28.5%	3.1%	0.0%	10.0%	89.2%	86.9%	130
13	学校は、保護者に対して、学校便りやホームページ等で適切に情報を提供している。	96	28	5	0	1	73.8%	21.5%	3.8%	0.0%	0.8%	96.2%	95.4%	130
14	学校は、特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。	86	24	3	1	16	66.2%	18.5%	2.3%	0.8%	12.3%	85.4%	84.6%	130

※ 1 あてはまる 2 ややあてはまる 3 あまりあてはまらない 4 あてはまらない 5 分からない

（1）アンケート全体に関わることについて

今年度の締めくくりとなる後期学校評価に際し、42.5%の皆様から貴重なご回答をいただきました。お忙しい中、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。

全体的な傾向として、多くの項目で90%前後の肯定的評価（「あてはまる」「ややあてはまる」の合計）を維持しており、本校の教育活動への一定のご理解をいただいているものと受け止めております。一方で、自由記述では具体的な改善案等の声もいただいております。これらの結果を真摯に受け止め、次年度の教育課程編成に活かしてまいります。

続きまして、肯定的な回答が特に高かった設問と比較的低かった設問について、述べさせていただきます。

（2）肯定的回答が特に高かった設問について

①設問1：学校の教育方針の周知（97.7%）

「よく考え、学ぶ子」等のめざす児童像について、ほぼ全ての保護者の皆様にご理解いただいている。前期（98.1%）に引き続き、学校の根幹となる方針が家庭と共有できていることは、教育効果を高める上で非常に大きな力となっています。年度を通じて一貫した発信を行ってきた成果と考えております。

②設問3：小中一貫教育の取組（97.7%）

松木中・松木小との三校合同あいさつ運動や、運動会での中学生ボランティアの活躍など、地域と連携し、校種を越えた教育活動が「長池小の日常」として定着してきているのではないかと思います。前期（94.9%）より数値も向上しており、継続的な交流が子供たちの社会性や憧れの気持ちを育んでいることにつながっていると感じます。次年度も3校で協働し活動を行ってまいります。

③設問4：学校の安全管理（97.7%）

避難訓練や不審者対応、防犯体制の維持について、高い安心感をもっていただいている。地震や火災、不審者対応などの避難訓練を通じた安全意識の向上について、高い評価をいただきました。自由意見でも「子供が家で避難の仕方を話してくれた」といった声があり、学校での学びが生活に直結していることが確認できました。避難訓練を通じた子供たちの安全意識の向上について、保護者の皆様に深く浸透していることがうかがえます。次年度も避難訓練の計画等を適宜見直しながら、さらに子供たちの安全を最優先に教育活動を展開します。

④設問13：学校からの情報提供（95.4%）

肯定的回答は95.4%と高く、H&Sアプリやホームページ、学級通信を通じた発信に対し、「クラスの様子がよくわかり、安心できる」との感謝の言葉を多数いただきました。特に「子供が話さない学校の様子が写真や文章で分かり、会話のきっかけになる」といったご意見は、私たちの励みとなっております。今後も「学校の見える化」を推進します。

⑤設問6：道徳・人権教育の推進（93.8%）

「いじめを許さない」姿勢の堅持や、道徳の時間を核とした思いやりの心の育成について、多くの方から支持をいただきました。自由記述でも、トラブルの際に担任が子供の気持ちを尊重して丁寧に対応したことへの感謝が寄せられています。今後も、全ての児童が「自分は大切な存在である」と実感できる居場所づくりに努めてまいります。

（3）今後の課題と改善に向けた取り組み

一方で、数値が前期より低下した項目や、依然として肯定的回答が 8 割台に留まっている項目については、課題として真摯に受け止め、次年度に向けて改善を図ります。

①設問 14：特別支援教育への取り組みについて

肯定的評価は 84.6% で、8 割を超えてはいますが、「分からない」という回答が 10.8% 存在します。自由意見では「先生の対応が素晴らしい」とのお褒めをいただか一方で、支援の全体像が見えにくいという側面もあります。つばさ学級との交流や通級指導、個別の支援計画の活用状況など、一人ひとりのニーズに応じた取り組みを、より可視化して伝えていく必要があります。情報発信のあり方を検討してまいります。

②設問 8：授業における ICT 活用や工夫について

肯定的評価は 86.9% となり、前期（92.4%）から 5.5 ポイント低下しました。端末の活用が日常化した一方で、それが単なる「ノートの代用」としての利用にとどまっている部分があるのではないか、デジタルならではの機能を活かして、子供たちの思考を深める対話や発表に有効に使われているかという、活用の「質」が問われていると分析しています。授業公開等を通じ、ICT を用いた主体的・対話的な学びの姿をより具体的にお見せできるよう、教員の研修を強化していきます。また、1 人 1 台端末のより効果的な活用や、子供たちが主体的・対話的に学べる授業づくりについても、研修を行ってまいります。

③設問 11：学校のきまりや生活態度の指導について

肯定的回答が 89.2% となり、前期（94.3%）から 5.1 ポイント低下しました。「落ち着かない学年がある」といったご指摘もあり、集団としての規律と個々の子供の状況に応じた指導を行う必要があります。全校で一貫した生活指導体制を構築し、子供たちが落ち着いて学習に打ち込める環境を再整備します。

今後とも、子どもたちのより良い成長のために、各項目でいただいた評価を参考に、様々な教育活動について改善を図ってまいります。

（4）自由意見への回答と今後の対応

★ご意見・ご質問等○学校からの回答

★体操着のゼッケン（名前・クラス名）の縫い付けについて

○「新学期の準備における負担が非常に大きい」とのご意見をいただきました。これを受け、次年度よりゼッケンの縫い付けを必須とせず、衣類への「直書き」も可能とする運用に変更いたします。保護者の皆様の負担軽減の一助となればと思います。詳細な仕様については、改めて新年度の学年だより等でお知らせいたします。

★学校だより・行事予定の早期配付について

○「翌月の2週間前くらいには予定が知りたい」とのご要望をいただきました。現在、本校では学校全体の教育活動や各学年の学習計画を精査し、正確な情報を届けするために、月末に翌月分の「学校だより」や「学年だより」等を一斉配信する運用しております。仕事や家庭の予定調整において、より早い段階での情報を必要とされる事情も重々承知しておりますが、今後もこの月末の配信サイクルで、発信させていただければと思います。ご家庭の事情等で早く知りたい方は、担任まで問い合わせしていただきますようお願いいたします。

今回のアンケートにおいても、ご意見だけでなく、日々の教育活動への温かい感謝の言葉を多数いただきました。

★皆様からいただいた温かいメッセージ（抜粋）

- ・先生の対応がより丁寧になり、子供の行動を前向きに捉えて声をかけてくださったことに感動したというお話をいただきました。
- ・音楽会では、一生懸命に歌う子供たちの姿や、先生方の想いが伝わるメッセージ性の強い選曲に深く感動したとのご感想をいただきました。
- ・1年生の保護者様からは、少人数ならではのきめ細かな対応や細やかな連絡により、安心して子供を通わせられているとの声をいただいています。
- ・学級通信を通じてクラスの様子がよくわかり、子供が毎日楽しく登校できているのは先生方のご指導のおかげであると、感謝のお言葉をいただきました。
- ・苦手なことがあるお子様でも安心して過ごせるような工夫や、先生方の熱心で思いやりのある指導に厚い信頼を寄せていただいております。

このような温かいコメントは、私たち教職員にとってたいへん嬉しく、何よりの励みとなります。本当にありがとうございます。

アンケートへのご回答、ありがとうございました。前期評価の際にお伝えしたように、今回をもって令和7年度の最終的な学校評価となります。現在、複数の児童が通っているご家庭からの回答が1回の回答であることが多い状況です。八王子市としましては、お子様の人数分の回答をお願いしているところです。来年度につきましても、ご協力をくださいますようお願いいたします。

今年度も残すところ、2カ月ほどとなりました。進級・進学に向けて教職員一同、最後まで子どもたちの成長を支援してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。